

## 合唱祭作文紹介③

### 「合唱祭を振り返って」

C組

今年の合唱祭では、僕にとってかけがえのない経験になりました。僕のクラスでは、課題曲の「時の旅人」と自由曲の「明日に渡れ」を歌い、見事、最優秀賞をとることができました。僕はその二つの曲でピアノ伴奏を担当しました。

最初に楽譜をもらったときは、とても不安でした。特に「明日に渡れ」はテンポがとにかく速く、全体的に強く弾かなければならないので指揮者と合わせるのがとても大変でした。それでも、夏休み中にたくさん練習したり、先生に指導してもらったりしてなんとか弾くことができるようになりました。クラス全体の練習では、パートごとに分かれて音取りやアカペラなどで細かい音のズレを直していきました。合唱をしたときには指揮者を見ながら途中のテンポが速くなりすぎないことを意識しました。曲を歌うときには、主人公の気持ちを考えて歌うことを大切にしていたので、表現や間の取り方などみんなと何度も話し合いました。練習をするたびクラスの団結力が強まり、本番直前には、「成功させたい」という気持ちでいっぱいでした。本番では、緊張もありましたが、ステージに立った瞬間みんなの気持ちが一つになっていくのを感じました。ピアノを弾きながらみんなが一生懸命歌っているのが伝わりました。演奏が終わったときの達成感は一生涯忘れません。

この合唱祭を通して、仲間と協力することの大切さや努力の先にある喜びを学びました。この経験をこれからの学校生活にいかしていきたいです。



## 「文化行事委員としての思い」

C組

私は文化行事委員として合唱祭に携わる仕事をして、いろいろな思いをしました。合唱祭に向けて準備をするうちに、並び順や練習内容など決めなければいけないものが増えて大変でした。クラスで決めるものだから適当に聞けて終わらせることができないことにとても苦勞しました。他にも、放課後や昼休みに集まることが多くなると、忘れそうで不安になりました。このようなことが重なって「3年生になったら委員会をやめよう」と思うこともありました。しかし、本番を終え、最優秀賞も取ることができた今では、「先輩がいなのは寂しいけど来年も委員会に入っても良いな」と思っています。合唱祭の準備をしているときは「別に本番が終わっても大して達成感はないだろうし、良いことない…」と思っていたけど、去年よりも良い歌を歌えたからか、とても達成感がありました。去年は1年目で不安なことも何をするのかわからないことばかりで委員会の仕事をしていました。しかし今年はやるべきことがわかるようになってよかったと思います。

文化行事委員は、大変だけどやりがいも大きいと先生が言っていたけど、それを実感できた合唱祭でした。残りの委員会の仕事も、あと少しがんばりたいです。

